

牛久市スポーツ推進審議会議事概要		開催日	令和6年9月25日(水)
件名	令和6年度 第2回会議	場所 時間	ひたち野リフレビル4階 第3会議室 10:00~11:45
作成年月日	令和6年9月30日(月)	作成	スポーツ推進課:津脇
出席者	(出席委員) 唯根委員 櫻井委員 鶴長委員 橋場委員 中島委員 木田委員 川村委員 春日(川崎委員代理) 金澤委員(オンラインによる参加) (欠席委員) 小島委員 (事務局) 高橋スポーツ推進課長 津脇課長補佐 片岡主査 佐野主事 (傍聴者) 1名 (順不同・敬称略)		
議事内容	令和5年度事業の評価結果と「スポーツ推進計画」事業評価時期等の検討について		
会議内容等			
<p>唯根委員長の議事進行により本日の討議を開始</p> <p><b>【令和5年度事業の評価結果について】</b></p> <p>前回の審議会で各委員に評価を依頼した、令和5年度事業の評価結果を「令和5年度実現度評価」としてグラフ化し、平均点を3とした場合に、その点数に満たない事業の要因について事務局より説明を行った。</p> <p><b>＜事務局説明要旨＞</b></p> <p>「障がい者のスポーツ活動支援」にあっては、普及に関する部分、施設のユニバーサル化に関する部分の遅れが低評価の要因になっている。</p> <p>「指導者・ボランティアの育成」にあっては、学校部活動の地域移行という課題への対処も含め、地域における指導者の発掘が進んでいないことが低評価の要因になっている。</p> <p>「幼児期の体力の向上」にあっては、小学校年代以上からの取組はあるものの、小学校入学前の幼児に対する事業が行われていないことが低評価の要因になっている。</p> <p>「スポーツ施設の管理」にあっては、市内の運動施設が設置後30年を経過し、それぞれが老朽化しており、長期的な視点での計画を必要としていることから、整備が追いついていないことが低評価の要因になっている。</p> <p><b>＜上記の説明について委員から意見があり、事務局より説明(抜粋)＞</b></p> <p>問) 幼児期の体力の向上について、何か具体的な計画はあったのか?</p> <p>答) 小学生年代の体力向上を目的に、令和4年度より投げる大作戦を実施し盛況である。今後小学校入学前の子供たちに対する取組も庁内連携等を取りながら具体化していく。</p> <p>問) イベントの周知や指導員の発掘に関してのPRが足りないのではないかと?</p> <p>答) 地域の方々に企画の内容を知ってもらうための方策を検討していかないといけない。</p>			

問) 障がい者スポーツの普及に関し、市役所内部での調整は行っているのか?

答) 現状行っておらず、今後保健福祉部等と横の連携を密にして進めていく。

問) 気軽に遊べる公園等を設けてみては?

答) ボール遊びが禁止・抑制されている公園が多い、これらは条例・規則等で縛られているわけではないが、街中の公園で実施するのは難しい。運動公園・運動広場の活用も含め他部署との連携を強くしていく。

問) 指導者・ボランティアの育成に関し、指導者資格更新等に費用がかかる問題がある、行政が費用の一部を負担することで資格所持者にも責任感が生まれるのではないかと?

答) 資格取得が大きな壁になっていることは認識している、中学校部活の地域移行に関しても資格取得者が必須の競技もあり、何らか予算化していく必要はあると考えている。

### 【「スポーツ推進計画」事業評価時期等の検討について】

スポーツ推進計画が 10 年という長期の計画であるため、基本目標ごとに評価の時期を変えていく必要があると考えている。具体的には短期・中期・長期の視点により下記の通り基本目標を分類したい。

(短期的な評価 (毎年評価))

- ・市民のスポーツ活動に直結し、毎年の状況が反映できるもの

指標 1 スポーツ活動の啓発      指標 2 スポーツ活動機会の提供・活動支援

(中期的な評価 (3 年程度に 1 度評価))

- ・事業を進めることにより一定の成果指標が必要なもの

指標 3 スポーツ人材・組織の育成      指標 5 子どもたちのスポーツの充実

(長期的な評価 (5 年程度に 1 度評価))

- ・市公共施設整備の方向性に伴うもの

指標 4 スポーツ施設の整備      指標 6 プロスポーツ団体や近隣市町村との連携強化

今後は令和 6 年度を初年度とし、具体的に指標・目標を設定できるものは設定し、評価対象としていきたい。 → 委員より承認あり、今後も柔軟な対応を心がけるようにとの意見。

以上